

## 第3学年 総合的な学習の時間学習指導案

日 時 令和4年6月24日(金)  
第5校時 13:20~14:05  
対 象 第3学年2組 22名

### 研究主題

自ら課題を見出し、課題解決に向けて「やり通すこと」のできる児童の育成  
～カリキュラムマネジメントを活用した、「心のふるさとづくり」の充実～

### 1 単元名 「上二小わくわく江戸川調査隊」～江戸川の生き物を伝えよう～(全22時間)

### 2 単元の目標

江戸川の土手に生息する生き物の特徴を理解し、その特徴を通して感じた関心をもとに課題をつくり、課題解決に向け、自分のよさに気づき、生き物のよさを伝える活動に進んで取り組もうとする。

### 3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 江戸川の土手に生息する生き物の特徴を理解する。 ② 調査活動を、目的や対象に応じた適切さで実施することができる。 ③ 江戸川の土手に生息する生き物の特徴を理解し発信していくことが、探求的に学習してきたことの成果であることに気づく。	① 江戸川の土手に生息する生き物の特徴を通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもつことができる。 ② 課題の解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積することができる。 ③ 課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えることができる。 ④ 相手や目的に応じて、分かりやすく表現することができる。	① 課題解決に向け、自分のよさに気づき、探求活動に進んで取り組もうとする。 ② 自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとする。 ③ 地域との関わりの中で自分にできることを見つけようとする。

### 4 児童の実態

#### (1) 実態調査

本学級の児童は1、2年生の学習で江戸川の土手の自然と関わる体験を通して、江戸川の土手への愛着を深めてきた。3年生になり社会科「学校のまわりの様子」では、学校の屋上から何が見えるかを調べ、学校のまわりには江戸川の土手があることを再確認した。また、理科「生き物を見つけよう」では、学校の校庭や上二の森にいる生き物を探す活動を行った。学級の男子は全ての生き物について興味を持っていたが、女子は昆虫が苦手であることも見て取れた。このことを踏まえ、本単元では調べたい生き物を自ら選択できるようにした。これらの活動を通して、児童は江戸川の土手の自然に対して愛着を持っているようだ。

この江戸川の土手の自然に対しての愛着を自分たちのものにせず、その思いを外部へ発信していこ

うとする態度を育んでいく。

3年2組 22名に対してアンケートをとり、児童の江戸川土手へのイメージを聞いてみた。

「わたしは江戸川の土手について〇〇〇だと思います。」という形式で教えてください。  
〇〇〇の言葉…自然がたくさんある場所（15）　きれいな場所（2）  
遊ぶ場所（2）　スポーツができる場所（1）  
さわやかな場所（1）　階段がたくさんある場所（1）

(2) 考察

アンケート結果より、児童の68%が江戸川の土手に対して自然がたくさんある場所と考えていることが分かった。自分達の中で江戸川の土手=自然であることが明らかになり、より一層江戸川の生き物を伝えていこうとする意欲が高まると予想される。

## 5 研究主題に迫るための手立て

### (1) 地域人材、地域資源の活用

導入で江戸川の生き物について詳しいゲストティーチャーを招いて、江戸川の大切な生き物を紹介してもらおう。それによって、より江戸川に興味をもち、調べてみたいという意欲につながる。また、児童が新たに疑問をもったり知りたいことが出てきたりしたら、ゲストティーチャーに再び教えてもらい、児童の意欲が持続するようにする。

### (2) 学習形態の工夫

調べる生き物について、興味関心に応じて決める。興味のある生き物を調べる事で、グループでより協力し合えるようにする。

実際に江戸川の土手や親水緑道などに出向き、様子を観察したり、調査したりする体験型の活動を取り入る。江戸川に触れ合いながら、そのよさを学んでいけるようにする。

報告会を単元の途中で行う事で、それぞれのグループで調べている江戸川の良さを共通理解できるようにする。より主体的に取り組めるように、地域に向けた活動を、見通しをもって行う。

### (3) 思考ツールの活用

得られた情報から、関係を見つけたり、新たなことに気付いたり、自分の考えをまとめたりするときに、クラゲチャートやフィッシュボーンを使って具体的に思考を可視化させる。児童が見て分かるようにすることで、次の活動へつなげやすくする。

### (4) ICTの活用

生き物の写真を撮影するために、タブレットを活用する。まとめていくときに、撮った写真を使用する。情報の中から、適切な資料を選べるようにする。教師は情報を制限させるために、Teamsで資料提示を行うために使用する。

	○主な学習活動	・支援 【評価】	他教科との関連
--	---------	----------	---------

<p>課題設定</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>3</p>	<p>○江戸川の土手について話し合う。</p> <p>○江戸川河川敷で生き物を見つける。</p> <p>○ゲストティーチャーを招き、江戸川の生き物について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自慢の江戸川河川敷を上げさせる。2年生</li> <li>・校歌にも江戸川のことが入っている事を知らせ、関心を高める。</li> <li>・河川敷ランキングを知り、江戸川の土手の自然を知らない人が多い事を知る。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【知②】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸川の大切な生き物についての話をしてもらい、自分たちの町の素晴らしい存在という意識を高める。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【知①、主①】</p>	<p>社会科： わたしたちの江戸川区</p>
<p>情報収集</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>(本時)</p> <p>6</p> <p>整理分析</p> <p>7</p> <p>まとめ</p> <p>表現</p> <p>8</p> <p>9</p>	<p>○伝える生き物を決める。</p> <p>○調査計画を立てる。</p> <p>○生き物を詳しく調べる。</p> <p>○江戸川河川敷の生き物を伝える方法を考える。</p> <p>○調べた事をまとめる。</p> <p>○報告会をする。</p> <p>○報告会の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4～5人のグループになるようにする。</li> <li>・生き物と環境を結び付けて考えられるようにする。</li> <li>・グループごとに分担して活動する。</li> <li>・河川敷に実際に行って調べる。</li> <li>・理由があつてそこにいることを意識して調べたことをまとめられるようにする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【思①主②】</p> <p style="text-align: right;">【思②】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思考ツールを使ってまとめる。</li> <li>・保護者に発表し、アンケート記入のお願いをする。</li> <li>・アンケートの結果を知らせる。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【思③】</p>	<p>理科 「生き物を育てよう」</p> <p>読書科 国語： 「本で調べよう」 「生き物ブックを作ろう」</p>
<p>課題設定</p> <p>10</p> <p>11</p> <p>情報収集</p> <p>12</p> <p>13</p> <p>整理分析</p> <p>14</p>	<p>○もっと調べたいことをしらべてまとめる。</p> <p>○ゲストティーチャーに新しい情報を聞く。</p> <p>○新たに調べたことをまとめる。</p> <p>○江戸川の魅力をまとめて、キャッチフレ</p>	<p>新たな発見、疑問に思ったことを調べてまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親水緑道を調べて、江戸川との関連に気付くようにする。</li> <li>・未来館へ行って調べられるようにする。</li> <li>・これまでの図鑑やパンフレットに調べたことを付け加えるようにさせる。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【思①主③】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸川の魅力を伝えられるような短</li> </ul>	

15	ーズを考える。	い言葉を考えさせる。	
16	○ゲストティーチャーに作品を発表し、意見を聞く。		
まとめ表現	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> まとめたことを、地域の人に伝えていこう。 </div>		
17	○発信する方法を考える。	・地域の役に立てるという思いをもたせる。	
課題設定	○地域に広める活動をする。		
18	○これまでの活動を振り返る。	・生き物と環境は、つながっていることを思い出させる。	【思③】
19		・江戸川に対する関心がこれで終わりではないという意識を持たせる。	
整理分析			
20	○2年生に伝える。		【思④】
まとめ表現			
21			
22			

社会科：  
私たちの  
江戸川区

## 7 本時の学習（5時間目／全22時間）

### （1）本時の目標

○自分たちが調査する生き物について、生息していそうな場所をその環境とともに考えることができる。

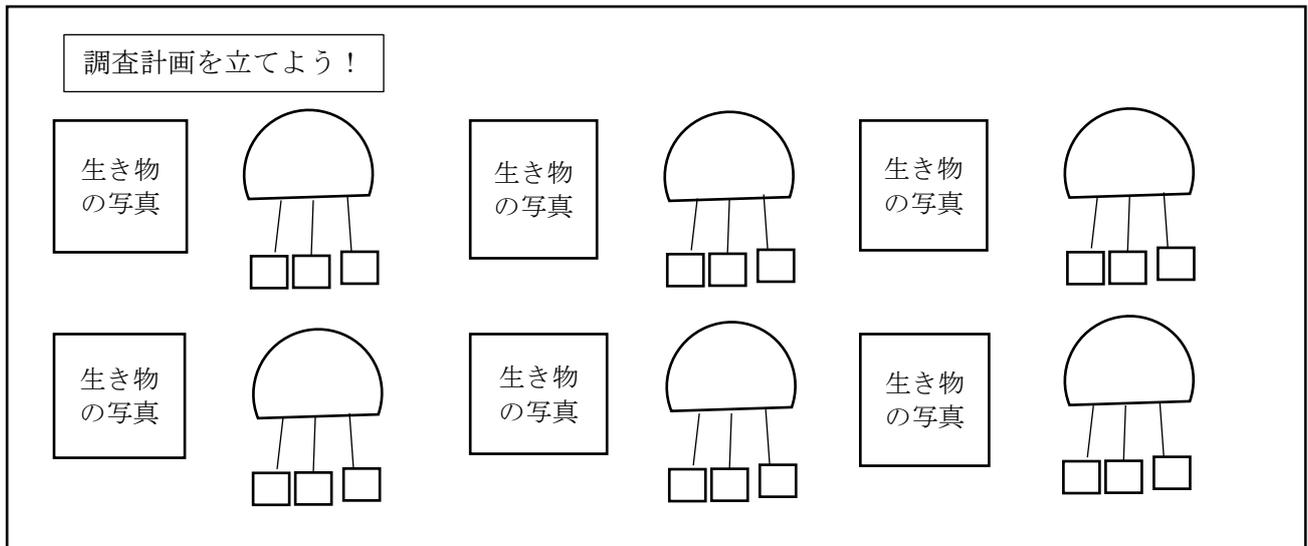
【思考力・判断力・表現力等】

### （2）本時の展開

学習内容	□支援・手だて ◆評価
1 前時の復習をする。 調査する生き物を確認する。	□ゲストティーチャーに教えてもらった情報を手元に用意させておく。
2 学習課題を確認する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 調査計画を立てよう！ </div>	
3 グループごとに、わかっていることを出し合い、生息していそうな場所を考える。	□生き物の写真を用意し、生き物ごとに表に整理して貼るようにする。 □クラゲチャートに黄色い付箋で根拠を示す。

<p>5 どこに生息していそうか発表する。</p>	<p><input type="checkbox"/> 書画カメラでワークシートを映して、全体で共有できるようにする。</p>
<p>6 調べたいことを共有する。</p>	<p><input type="checkbox"/> 青い付箋に書いて、始めの情報とは区別できるようにする。</p> <p><input type="checkbox"/> 生き物の生息する場所と環境が関係していることに気づかせる。</p> <p>◆ 生き物が生息していそうな場所をその環境とともに考えられている。</p> <p style="text-align: right;">【ワークシート、発言】</p>
<p>7 次時の見通しを持つ。</p>	<p><input type="checkbox"/> 今後の予定を確認する。</p>

板書計画



【成果と課題】

成果

- ゲストティーチャーに教えてもらったことにより、興味をもって調べる生き物を決めることができた。
- 付箋と思考ツールを使って、考えを整理することができた。
- 江戸川河川敷の航空写真を使うことで、イメージがしやすく、話し合いが活発になった。

## 課題

- その都度、子供から課題を見出せるための具体的な手立てが必要である。
- 内容ごとに最適な思考ツールを、吟味して活用していく必要がある。

※指導案上で、実践後に変更した箇所は、青白表示になっています。